

Info
3

詐欺手口と対策を知って、安心な暮らしを守ろう

あなたを狙う特殊詐欺、知識と対策で守ろう

近年、特殊詐欺の被害が急増しています。電話やSNSを悪用した詐欺の手口は日々巧妙化しており、「自分は大丈夫」と思っている、誰もが被害に巻き込まれる可能性があります。被害を防ぐためには、詐欺の手口を知り、適切な対策を取ることが重要です。あなたや大切な人を守るために、特殊詐欺への注意を深めましょう。

問い合わせ 地域支援課自治振興係(プラザきくる内☎35-0925)
菊川警察署生活安全課(☎36-0110)

■主な手口と対策

オレオレ詐欺

手口 子どもや孫などの身内になりすまし、トラブル解決の名目で金銭をだまし取る。

対策 お金が出たら電話を切り、すぐに警察などに相談する。



ニセ警察詐欺

手口 警察をかたり捜査名目で金銭をだまし取る。

対策 不審な話が出た時点で電話を切り、菊川警察署に連絡する。
※警察が電話やSNSで送金を求めることはありません！



SNS型ロマンス詐欺

手口 SNSやマッチングアプリを通じて恋愛感情や親近感を抱かせて、金銭をだまし取る。

対策 直接会ったことがない相手から投資やお金の話が出たら詐欺と断定する。



SNS型投資詐欺

手口 「必ず儲かる」「著名人もやっている」などと投資を勧め、投資金や手数料などを振り込ませる。

対策 SNSの投資話を信じない。
実在する正規の会社が確認する。



■今すぐできる詐欺対策

- ・固定電話は「留守番電話設定」や「国際電話の着信休止設定」を行いましょう。
- ・スマホに防犯対策アプリを導入する。
- ・怪しい電話やメッセージが届いたら、一人で判断せず、「菊川警察署」に連絡しましょう。



不安に感じたら、迷わず電話！
詐欺や犯罪被害の未然防止など
生活の安全を守るための相談窓口

9 1 1 0 (全国共通)

Social
Welfare

共に生きる社会をつくる まちかどノーマライゼーション

問い合わせ 福祉課障がい者福祉係(プラザけやき内☎ 37-1252)

NO.42

誰もが安心して暮らせるまちを目指して

ノーマライゼーションとは、障がいのある人もない人も、互いに支え合いながら、地域の中でともに暮らし、一人ひとりが自分らしく生活できる社会を目指す考え方です。今回は「障害者週間」について紹介します。



■「障害者週間」(12月3日～9日)とは

障がいのある人への関心と理解を深め、社会のさまざまな分野で活動できることを促進する週間です。障がいは一人ひとり異なり、外見からは分かりにくいものもあります。この機会に、障がいのある人が感じている困りごとや、私たちにできることについて考えてみませんか？

■障がいのある人が日常生活で困るケース

- ・声や音による情報が分かりにくい
呼びかけや館内放送に気づきにくいことがあります。
- ・説明を理解することが難しい
難しい言葉や長い説明が負担になる人がいます。
- ・音や人の多い場所が苦手
大きな音や人混みが負担になる人がいます。
- ・移動することが難しい
段差や狭い通路が移動の妨げになることがあります。

■私たちにできること

- ①まずは声をかける
困っているように見える人がいたら、手伝いできることがないか声をかけてみましょう。
- ②相手の話を聞く
「こうしてほしい」と決めつけず、本人が何を必要としているのか確認しましょう。
- ③可能な範囲で配慮する
大切なのは、特別扱いすることではありません。筆談する、分かりやすい言葉で説明する、通路を空けるなど、ちょっとした配慮が助けになることがあります。困っていることは何か、どうすれば解決できるか、一緒に考えて、誰もが暮らしやすい社会につなげていきましょう。

